

昭和村立東小学校

明治五年、学校教育の仕組みが変わり、明治六年、寺子屋に代わって糸井清雲寺に新しい小学校が誕生した。生徒は糸井村、貝野瀬村、生越村から集められた七十三名だった。

明治七年、糸井小学校は高橋丹次郎氏宅に移され、翌年、貝野瀬小学校は池替戸観音に、生越小学校は恵光寺に開校された。明治十一年、北勢多郡となり、糸井小学校は北勢多第二小学校、生越は第一分校、貝野瀬は第二分校に変わっていった。明治二十二年、糸井村と貝野瀬村が合併し糸之瀬村が誕生。糸之瀬尋常小学校となり貝野瀬小学校は貝野瀬分校場となった。

明治四十一年、長者久保に四年生までの長者久保分校（現在の大河原小学校）が設けられた。当時、分校の設置には百戸以上が必要だったが、原野地区には必要戸数が足らなかった。八キロもの通学路を一、二年生に歩かせるのは無理だ。と、当局に訴えたが返事がもらえず。地区だけの資金と労力で草葺き屋根の分校場が作られた。

昭和十六年「皇国民を錬成する」目的から小学校は国民学校

に改められていった。同年十二月、太平洋戦争に突入。学校教育も国家主義教育へと変わっていき、昭和二十年終戦。

昭和二十二年、教育の憲法である教育基本法と学校教育法が公布され、これまでの国民学校制から新しい教育方針に基づく糸之瀬村立糸之瀬小学校が誕生した。そして昭和二十三年、現在地に念願の新校舎が落成し、貝野瀬分校場が統合され新しい糸之瀬村立糸之瀬小学校となった。

昭和三十三年、糸之瀬村と久呂保村の合併により昭和村となり、昭和村立東小学校となった。平成八年三月、現在の校舎である新校舎が完成し近代的な設備による快適な環境の中で児童たちは学業に励んでいる。

参考資料 糸之瀬村史



現在の昭和村立東小学校

昭和村ボランティアガイドの会

事務局次長 倉澤 新平



地域包括支援センターだより

Cafe よりそい

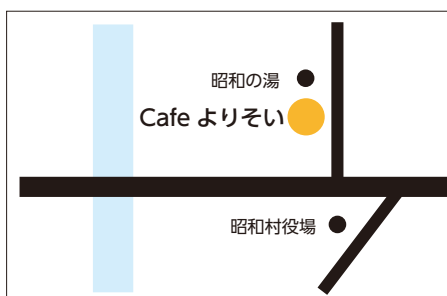
誰でも気軽に利用できる、地域の"居場所"がオープンします！

オープン
8月21日(木)午後2時～

費用は無料で申し込みの必要はありません。
お好きな時間にお越しいただけます。お帰りも自由です。
お菓子や飲み物なども用意していますので、気軽にご利用ください。
介護や認知症の相談、生活の困りごとがあれば、専門職につなぐこともできます。



ふれあい館



Cafe よりそい

開催日 毎月第2、第4木曜日
午後2時～4時ごろ
※祝日・年末年始は休み
場 所 昭和村ふれあい館
(福祉センター敷地内)
住 所 昭和村糸井624番地
連絡先 ☎20-1126



問合せ 地域包括支援センター ☎20-1126

